

はしがき

日本金融学会 70 年史の編集にあたって

日本金融学会は 1943 年 6 月に設立されましたので、2013 年は日本金融学会設立 70 周年の年でした。それを記念するために、常任理事会は『70 年史』誌の刊行を理事会に提案しました。理事会の先生方の賛成が得られ、また、総会でも了承されたことから、2013 年夏頃から本格的に編集作業を進めてきました。

日本金融学会では、40 周年時に『金融学会の創立と初期の活動』（以下、『40 年史』）が刊行され、さらに 60 周年の際には、晝間文彦早稲田大学教授を編集代表者として『日本金融学会 60 年の歩み』（以下、『60 年史』）が発行されました。この『40 年史』や『60 年史』のおかげで、過去 60 年間の日本金融学会の活動の歴史の重みを認識することができるようになっていきます。

『70 年史』の編纂にあたっては、『70 年史』編集委員会は、次のような目標と方針を立てました。

第一に、『60 年史』以降、70 周年を迎えた 2013 年度までの活動を対象にして、将来、たとえば、『100 年史』を編集する際のために、この 10 年間の学会活動に関連する資料をまとめておくこと。

第二に、数値的な記録だけではなく、学会活動を支えてこられた先生方のご苦勞の一端を記録しておくことで、学会の活動への一般会員の理解を深めていただき、今後の学会の発展につなげること。

第三に、学会 HP が充実されてきたことから、費用の問題も踏まえて、紙媒体の印刷を行わず、ホームページ上に掲載する形で刊行すること。また、将来、紙媒体で印刷されることの承諾を受けて寄稿していただくこと。

以上のような目標・方針の下で、まず、歴代の会長経験者に寄稿していただきました。次に、学会の最も重要な行事は春と秋の全国大会の開催です。この 10 年間に 20 大学が主催校の役割を果たして下さいました。それぞれの主催校の先生に大会運営の思い出について寄稿していただきました。

日本金融学会の特徴の一つは、地域ごと、専門分野ごとに組織された部会活動が活発なことです。現在、9 つの地域・専門部会がありますので、それぞれの部会の代表者の先生に部会運営の経験を寄稿していただきました。

本部活動に関連して、日本金融学会が持つ 2 つの機関誌の編集委員長や編集委員の先生方、およびホームページ委員長にも寄稿していただきました。さらに、日本金融学会は韓

国や中国の金融学会と学术交流を進めてきましたが、それを担当していただいた先生方にも寄稿していただきました。

また、『60年史』の中から、日本金融学会の60年の歴史を展望している佐藤政則麗澤大学教授の論文を特別に収録させていただくことにしました。これによって、この『70年史』だけをみても金融学会の70年間がわかることになりました。

さらに、総会資料などについては事務局の助けを得ながら、おもに編集委員の橋本理博氏（名古屋大学研究員）に整理していただきました。

具体的な原稿の依頼から原稿の提出まで時間的なゆとりがあまりない中、協力していただいた先生方に深く感謝します。本書が日本金融学会の活動の一層の活発化につながることであれば、編集委員会としては望外の喜びであります。

2014年5月

編集委員長

日本金融学会常任理事・神戸大学教授 家森信善

<編集委員（50音順）>

常任理事・九州大学教授 川波洋一

麗澤大学教授 佐藤政則

常任理事・神戸大学教授 地主敏樹

理事・北九州市立大学教授 前田 淳

理事・一橋大学教授 三隅隆司

<編集ワーキンググループ委員>

名古屋大学特別研究員 橋本理博